

鶏舎への 野生動物侵入防止の 取り組み

~調査・対応事例のご紹介~

高病原性鳥インフルエンザをはじめとする様々な疾病対策において、鶏舎への野生動物侵入 防止は非常に重要な取り組みです。鶏舎の近辺には、人目につかずに多くの野生動物が生息して いることがあり、これら野生動物の鶏舎への侵入が各種疾病の原因となる可能性があります。 これらの野生動物を鶏舎に近づけない、また侵入させないために、農場および鶏舎周りの調査を 行い、問題個所を明らかにし、対策していくことが必要です。

そこで、本冊子では、全農グループが実際に農場で行った野生動物侵入防止の取り組みを ご紹介させていただきます。

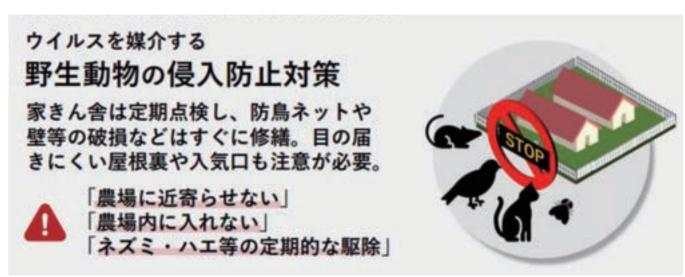
JAグループ

農協│経済連│全農│くみあい飼料



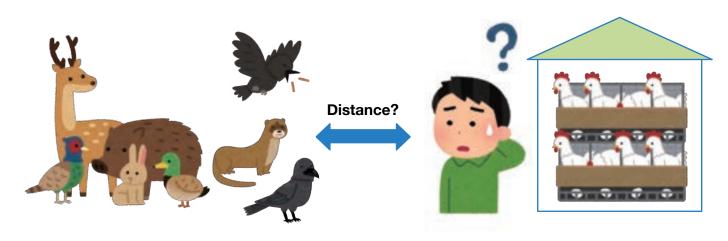
はじめに 野生動物侵入防止の重要性

2022-2023シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の発生に係る疫学調査結果をふまえた提言では、従来の対策に加え職員の動線管理の再確認、衛生対策の徹底とあわせ、**野生動物侵入防止対策の徹底**があげられています。



農林水産省HPより

しかしながら、野生動物については農場側も正確な情報をつかみきれず、特に夜間の状況の実態把握が難しいため具体的な対策が進められない農場も多いことでしょう。

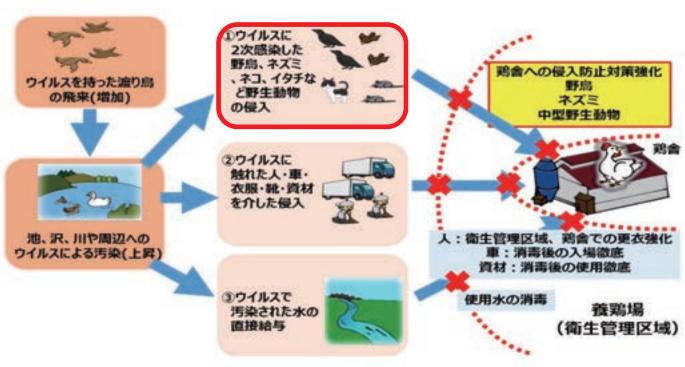


農場へのHPAIウイルス等の侵入リスクを低減するためには、侵入する野生動物種、侵入頻度、侵入ルート、活動特性などを調べ、それらの調査結果をもとにした侵入防止対策を進めることが重要です。

鶏舎への野生動物侵入防止の取り組みとは

野生動物は卵、エサ等をねらって鶏舎内へ侵入しようとします。侵入ルートは鶏舎開口部、金網等の破損部分・すきま等様々なルートが想定され、侵入は昼夜を問いません。

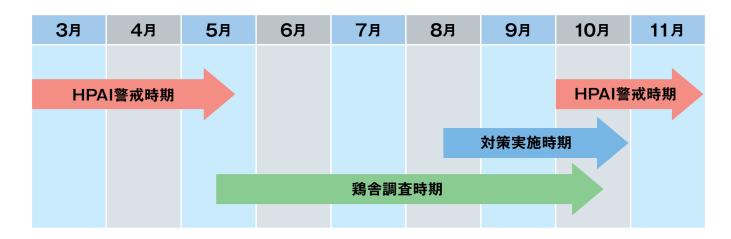
● 鶏舎へのHPAIウイルス侵入ルート



これら侵入想定ルート調査では、**普段の管理では気づきにくい箇所**(足元、鶏舎壁面側、作業時のみ開放する場所、高所作業が必要な場所等)の調査が中心となりますので、調査に第3者の視点を加え問題箇所を調べることが重要です。

点検時期としてはHPAIシーズン前の夏場を中心に行います。

家畜保健衛生所の立入検査前に実施し、補改修等を実施することが理想です。



調査1 鶏舎点検に入る前に農場周辺の状況を確認します。

1. 渡り鳥飛来場所からの距離

農場周囲に渡り鳥飛来場所があるか、方角、距離、農場への 飛来状況を確認します。

例:全農家畜衛生研究所 千葉県佐倉市大蛇町7番地

印旛沼で確認される渡り鳥

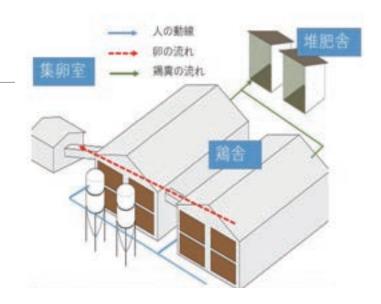
キンクロハジロ オオバン ヒドリガモなど

環境省のHPからの 野鳥の情報を チェック





- 2. 農場内の鶏舎レイアウト、人や物の動線を確認します。
 - 人の動線
 - ●卵の流れ
 - 鶏糞の流れ 等



3. 農場敷地でみられる野生動物の目撃情報を収集します。

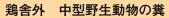
(例:カラス、スズメ、ネコ等)

4. 鶏舎周囲の野生動物の形跡を確認します。

昼間に目視での農場調査を実施します。 調査2

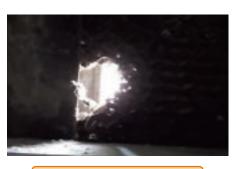
1. 農場敷地内での野生動物の侵入痕跡を点検します(以下は例)。







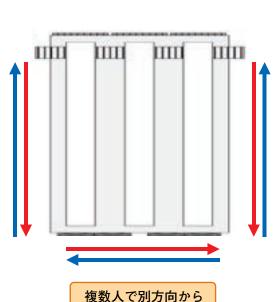
鶏舎内 ネズミの死骸



鶏舎内 ネズミかじり跡

2. 設備を点検します。

鶏舎開口部や金網等の設置物のすき間・破損有無を中心に点検します。点検は夏場が中心となりますが、HPAIの シーズンは冬場ですので、冬場の空気の流れも想定しながら行います。また、一つの鶏舎を複数人で点検します。



点検します

側面壁、入気口に 破損・隙間がないか



鶏糞搬送ベルト 鶏舎開口部に隙間がないか



バーコン鶏舎開口部に 隙間がないか



排水口周囲に 破損・隙間がないか

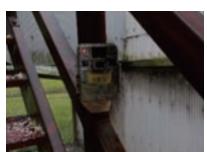
農場、鶏舎毎に構造は様々ですので点検時は全鶏舎を対象に実施します。 急がずこつこつ、ていねいに見てまわりましょう。

調査3 夜間にセンサーカメラを活用した調査を行います。

1. センサーカメラ

目の前に何かが通過した時に、センサーが反応し自動で撮影するカメラを使用します。夜間の撮影が可能なこと、屋外でも使える頑丈さ、長時間撮影できるバッテリーなどを備えたカメラを使用します。





2. 設置場所について

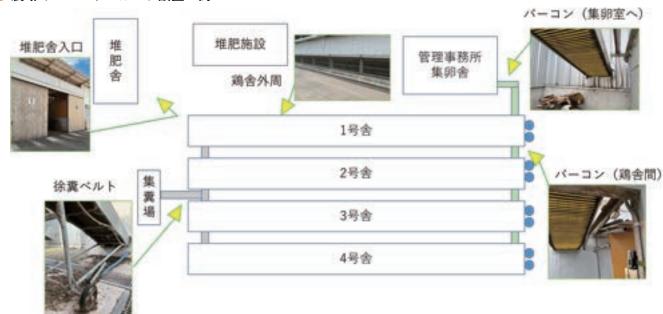
<u>「鶏舎開口部付近」「昼間の調査で確認した破損箇所」「野生動物の痕跡があった場所」</u>を中心に、カメラを設置します。

そのため事前に行う昼間の目視点検が非常に重要です。

カメラの稼働時間・稼働期間の目安は、季節で異なりますが、夕方18時~朝6時の撮影を1週間程度継続することを推奨します。

設置1週間程度で、データを回収して分析していきます。

● 農場でのセンサーカメラ設置一例



農場チェックリスト

農場敷地内、鶏舎、堆肥舎、集卵室などへの野生動物侵入防止状況を確認します。

場所	項目	チェック
農場周囲	渡り鳥飛来場所が近隣にあるか(農場より100m以内)	
農場敷地内	野生動物侵入痕跡はあるか(特にカラス、ネコ、イタチ)	
	野鳥飛来場所はあるか	
	定期的な除草、機材の整理整頓は実施しているか	
鶏舎	鶏舎(足元、壁等)に破損・すき間はないか(モニター含む)	
	鶏舎開口部(バーコン、鶏糞搬送ライン、排水口、作業用 出入口)に破損・すき間はないか。バーコン、鶏糞搬送ライ ンは夜間閉鎖をしているか	
	換気口(入気口、排気口)、鶏糞乾燥用入気口に必要な金網 は設置されているか、破損・すき間はないか	
	野生動物侵入痕跡はあるか	
鶏舎間	鶏卵搬送用バーコン開口部に破損・すき間はないか	
	鶏糞搬送用ベルトのフタ部分に破損・すき間はないか	
	野生動物侵入痕跡はあるか	
堆肥舎	堆肥舎(換気口への設置金網・防鳥ネット含む)に破損・すき 間はないか	
	出入口には扉、または防鳥ネットが設置されているか	
	野生動物侵入痕跡はあるか	
集卵室	集卵室に破損・すき間はないか	
	鶏卵搬送用バーコンベアー開口部に破損・すき間はないか	
	野生動物侵入痕跡はあるか	

チェックされた項目を中心に対策を進めていきます。

WL鶏舎での調査例

1. 鶏舎外部からの調査

構造物、鶏舎開口部周囲、設置金網大きさ(2cm角以内)の破損・隙間の状況を点検します。

入気口(縦換気)



入気口周囲 破損・隙間

クーリングパッド



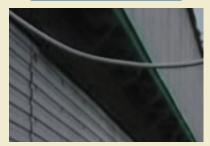
クーリングパッド周囲 破損・隙間

排気口周辺



排気口周囲ファン、施設 破損・隙間

入気口(横入気)



設置金網 破損・隙間

糞乾入気口



設置金網 破損・隙間

出入口



扉 隙間

入気口の破損



入排気口 金網の破損・隙間

排水口





設備の調査とともに、鶏舎周辺の野生動物、ネズミ形跡も調査します。

2. 鶏舎内部からの調査

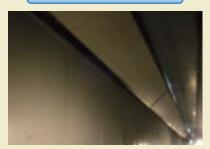
外部からと同様に、構造物、鶏舎開口部周囲、設置金網の大きさ(2cm角以内)、破損・隙間の状況 を点検します。

クーリングパッド



クーリングパッド周囲 破損・隙間

インレット周辺



インレット周囲 破損・隙間

排気ファン



排気ファン周囲 破損・隙間

糞乾入気口



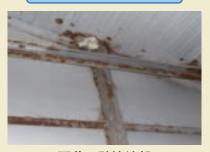
糞乾入気口設置金網 破損・隙間

基礎・壁接続部



基礎・壁接続部 破損・隙間

天井・壁接続部



天井・壁接続部 破損・隙間

バーコン内側

作業用出入口



作業用出入口シャッター 破損・隙間

排水口



排水菅周囲 モルタルの破損



バーコン内側 破損・隙間

夏・冬で入気方法が異なる場合も多いため、冬場の状況を想定した確認を実施します。

軟卵・破卵、死鳥は野生動物を呼び寄せるエサになるので、密閉して保管し、すみやかに鶏舎から離れた場所で処理しましょう。

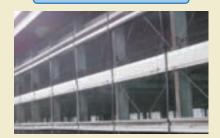
ネズミ・野生動物侵入形跡の有無もあわせて調査します。

開放鶏舎での調査例

1. 鶏舎外部からの調査

構造物、鶏舎開口部周囲、設置金網大きさ(2cm角以内)の隙間・カーテン破損状況を点検します。

側面空気取入口



金網、カーテン 破損・隙間

側面下部 1F部分



金網、カーテン 破損・隙間

モニター部



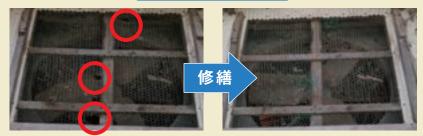
金網、カーテン、ネット等 破損・隙間 *モニター部分が視認できる場所から確認します。

両妻側 1F部分



金網、出入口枠 破損・隙間

排気側



金網、ネット 破損・隙間

2. 鶏舎内部からの調査

構造物、鶏舎開口部周囲、設置金網大きさ(2cm角以内)の隙間・カーテン破損状況を点検します。

側面空気取入口



金網、カーテン 破損・隙間

モニター部



金網、カーテン 破損・隙間

両妻側 2F部分



金網 破損・隙間

WL鶏舎と同様に軟卵・破卵、死鳥は密閉して保管し、すみやかに鶏舎から離れた場所で処理しましょう。 ネズミ・野生動物侵入形跡の有無もあわせて調査します。

鶏卵搬送ラインでの調査例

1. 鶏卵搬送ラインの調査

バーコン開口部、鶏舎間搬送ラインのすき間の破損状況を調査します。

開口部、鶏舎間では地面への軟卵・破卵の落下状況も確認します。落下した鶏卵が野生動物を呼び込むことがないように、清掃を行います。

ネズミ・野生動物侵入形跡の有無もあわせて点検します。

外部からの野生動物侵入の可能性が最も高い場所のため、調査を重点的に実施します。

搬送ライン

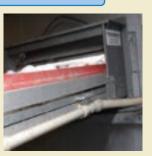




金網、トタン等破損・隙間

バーコン開口部(鶏舎内・外側)

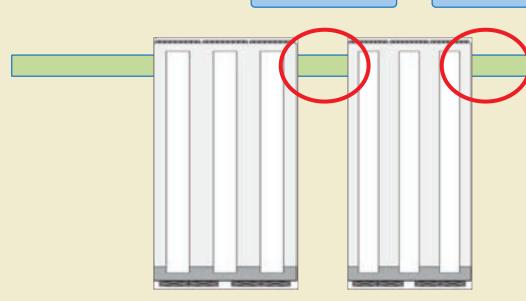




バーコンベア鶏舎開口部 隙間

鶏舎間鶏卵 搬送ライン

鶏舎外 開口部



鶏糞搬送ラインでの調査例

1. 鶏糞搬送ラインの調査

鶏糞落とし口のフタ、鶏糞ベルト鶏舎開口部、鶏舎間鶏糞搬送ライン破損・隙間の状況を調査します。 ネズミ・野生動物侵入形跡の有無もあわせて点検します。

鶏卵搬送ラインと同様に、外部からの野生動物侵入の可能性が最も高い場所のため、調査を重点的に実施します。

ピット蓋



ピット 破損・隙間

搬送ライン

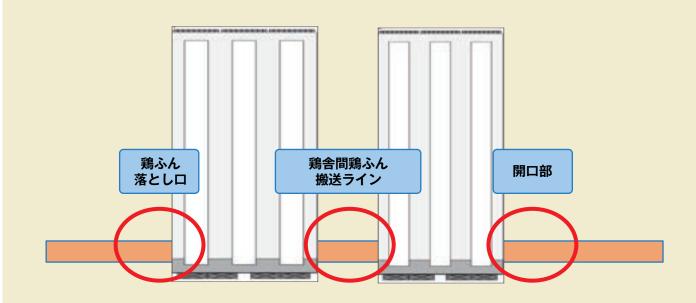


搬送ライン全体 破損・隙間

鶏舎開口部



鶏糞搬送ベルト鶏舎 開口部 隙間



堆肥舎・集卵室での調査例

1. 堆肥舎での調査

鶏舎から搬出された鶏糞、堆肥化できているものを含め、保管庫の出入口には扉や防鳥ネットを設置 し、野生動物の侵入を防止します。

壁にも隙間・破損がないか点検します。

開閉用扉



 破損・隙間

防鳥ネット



防鳥ネット 破損・隙間

2. 集卵室での調査

鶏舎から搬出された鶏卵が集まる施設ですので、卵をねらってネズミ、野生動物が侵入する可能性があります。

出入口、壁の破損・隙間、バーコン出入口の隙間を点検します。割れた卵が野生動物を呼び込むことが無いように、常に清掃が必要です。

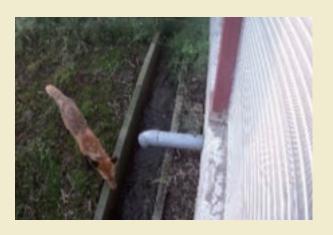
バーコン出入口





センサーカメラでの夜間調査例

撮影事例●|キツネ





鶏舎のすぐ横でキツネが撮影されました。昼間にキツネを見ることはほとんど無かったそうです。 同じ所で留まっていたため、ネズミを探している可能性が考えられます。

撮影事例❷│タヌキ、イタチ、イヌ







タヌキやイタチも、鶏舎周りで撮影されました。 キツネ同様、ネズミを追って鶏舎に近づいている可能性が考えられます。 イヌが現れることもあります。

撮影事例❸|ネコ







最も撮影機会が多い野生動物がネコでした。

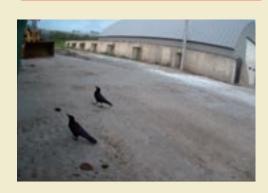
鶏舎周りで撮影されただけでなく、鶏舎開口部(鶏糞搬送ベルトロ、 鶏卵ベルト)からのネコの侵入も確認されました。

鶏糞搬送ベルト上のネズミを追っていた写真もあることから、鶏 舎への侵入もネズミを追ってきていると考えられます。

農場では、至急、ネットを使った侵入防止対策を実施しました。

また、農場全体でネズミ対策を実施することが、ネコの鶏舎侵入防止に働くと考えられます。





カラスは昼間に現れます。人のいない時には鶏舎の近く まで飛んできます。

直接的にHPAIウイルスを鶏舎に運ぶ可能性もありますので、カラスを近づかせない工夫が必要です。

鶏舎点検調査から

農場の皆さんと協力して目視調査を実施することで、日常管理では気づきにくい箇所での破損個所・隙間の存在が明らかとなりました(野生動物侵入リスク箇所の発見)。

また、センサーカメラを用いて夜間の状況を可視化することで、鶏舎周囲に様々な野生動物が存在すること、継続した対策が必要である事が明らかになりました。

夜間を含めて、農場敷地内へ侵入した野生動物による鶏舎内へのHPAIウイルス侵入リスクは、想像しているよりも高い可能性がありますので、動線管理、衛生対策の徹底とあわせた、防疫体制の整備を進めることが必要です。

今回ご紹介した内容を参考に、HPAI等の対策として野生動物侵入防止のための調査と 対策の取り組みが広がれば幸いです。



鶏舎への野生動物侵入防止の取り組み

~調査・対応事例のご紹介~

2024年3月発行

全国農業協同組合連合会 畜産生産部 推進・商品開発課 〒100-6832 東京都千代田区大手町1丁目3番1号 (JAビル)